



県庁前に座りこんだ水俣病陳情団

県庁前で座りこみ

水俣病 互助会 患者補償を陳情

水俣病患者家庭互助会の渡辺会長ら五十一人は一日早朝熊本県庁におしかけ、新日鐵水俣工場との紛争調停案に患者補償を入れるよう陳情した。二日に第二回調停委員会がひらかれるので、寺本知事の確答がなければ徹夜ですわり込む。

互助会では患者一人あたり二百

万円の補償を工場側に要求、これまでに数回交渉をかさねてきたが、工場側では「病気の原因が工場廃液にあるとの科学的結論はまだ出ていない」としてこれを拒否、三十日の交渉ものわかれに終わったため県庁に陳情した。

この日一行は午前六時二十七分

県庁前のデューセルカーで熊本駅につき、同駅から列縦隊で市内をデモ、陳情団と同道した熊本県議、湖上水俣市議会議員、石原周市助役らは公営に寺本知事をたずね、陳情団は県庁玄関前にすわり込んで知事の回答を待った。

なお水俣病紛争調停委員会はさきの第一回委員会で調停の内容

は不知火沿岸漁民への漁業補償を中心とするとの基本線をきめ、患者補償を調停の範囲に入れるかどうかについては態度を保留している、二日の調停委員会の成り行きが注目されている。